

# 島根県の経済動向

26統第81号の12  
平成27年4月3日

平成27年1月分

政策企画局統計調査課

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、  
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている一

生産活動は持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は弱い動きが続いている。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は117.2で前月比で6.8%上昇した。前年比は0.6%と4か月ぶりに上回った。大口電力需要実績は▲0.1%と8か月連続で前年を下回った。 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.16倍で前月より0.03ポイント下降し、新規求人数は▲4.0%と7か月連続で前年を下回った。所得面は、現金給与総額は17か月ぶりに、きまって支給する給与は19か月ぶりに前年を下回った。 雇用情勢は、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	⇒	～弱い動き～	大型小売店販売額は▲4.4%と5か月連続で前年を下回った。ホームセンター販売額は▲6.2%、家電大型専門店販売額は▲13.4%とそれぞれ10か月連続で前年を下回った。新車登録台数は▲24.0%と2か月ぶりに前年を下回った。 個人消費は、弱い動きが続いている。
投資動向	⇒	～持ち直している～	建築着工床面積（非居住用）は1.1%と2か月連続で前年を上回った。公共工事請負金額は▲23.6%と2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は5.3%と4か月ぶりに前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。
企業倒産	⇒	～倒産件数4件～	企業倒産件数は4件。うち建設業は0件、製造業は2件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年6.6%増～	銀行預金残高は79か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は53か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年1.7%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は102.5となり、前年比1.7%の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成27年4月3日公表）		CI先行指数は76.7となり、2か月ぶりの上昇となった。 CI一致指数は95.1となり、2か月ぶりの下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成27年3月12日公表）		財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状（27年1～3月期）は、▲16.8%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 26年度の設備投資計画は、前年度比69.5%の増加見込みとなっている。（製造業 90.7%、非製造業 19.9%）

経 済 指 標		前年同月比（%） ただし*は除く。					
		8月	9月	10月	11月	12月	1月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	113.0	111.6	111.7	110.4	109.7	117.2
	〃（原指数）	4.2	1.8	▲2.1	▲7.2	▲3.3	0.6
	大口電力需要実績	▲4.8	▲0.6	▲0.4	▲1.2	▲1.3	▲0.1
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.18	1.16	1.17	1.20	1.19	1.16
	新規求人数	▲2.6	▲0.7	▲2.7	▲0.3	▲4.4	▲4.0
	常用労働者数	▲0.1	▲0.6	▲0.2	▲0.3	0.6	▲0.3
	現金給与総額	0.9	1.3	0.9	0.9	4.7	▲1.2
	きまって支給する給与	1.0	0.9	0.0	0.6	0.6	▲0.1
	所定外労働時間（製造業）	3.1	6.3	3.6	4.6	7.9	▲6.7
個人消費	大型小売店販売額	2.5	▲3.2	▲2.6	▲2.7	▲3.0	▲4.4
	ホームセンター販売額	▲3.4	▲5.2	▲4.8	▲9.3	▲4.8	▲6.2
	家電大型専門店販売額	▲20.3	▲23.9	▲18.1	▲13.3	▲18.2	▲13.4
	乗用車新車登録台数	▲13.2	▲0.5	▲3.7	▲7.5	6.3	▲24.0
	出雲空港利用者数	▲2.2	▲13.3	▲13.6	▲15.7	▲6.5	0.4
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	89.6	▲4.0	▲7.0	▲49.5	82.7	1.1
	公共工事請負金額	26.3	▲8.5	▲9.3	5.9	▲14.4	▲23.6
	新設住宅着工戸数	▲29.7	3.8	▲40.7	▲13.0	▲10.2	5.3
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	6	2	1	3	3	4
	* 負債総額（百万円）	1,790	180	72	169	181	773
金融情勢	銀行預金残高	2.1	1.5	1.9	2.0	1.1	2.3
	銀行貸出金残高	3.7	3.9	5.0	4.7	5.2	6.6
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	103.7	103.5	103.6	103.3	103.1	102.5
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	72.7	75.6	72.7	74.2	67.2	76.7
	* 景気動向指数（CI一致指数）	102.5	106.0	101.9	99.2	101.3	95.1

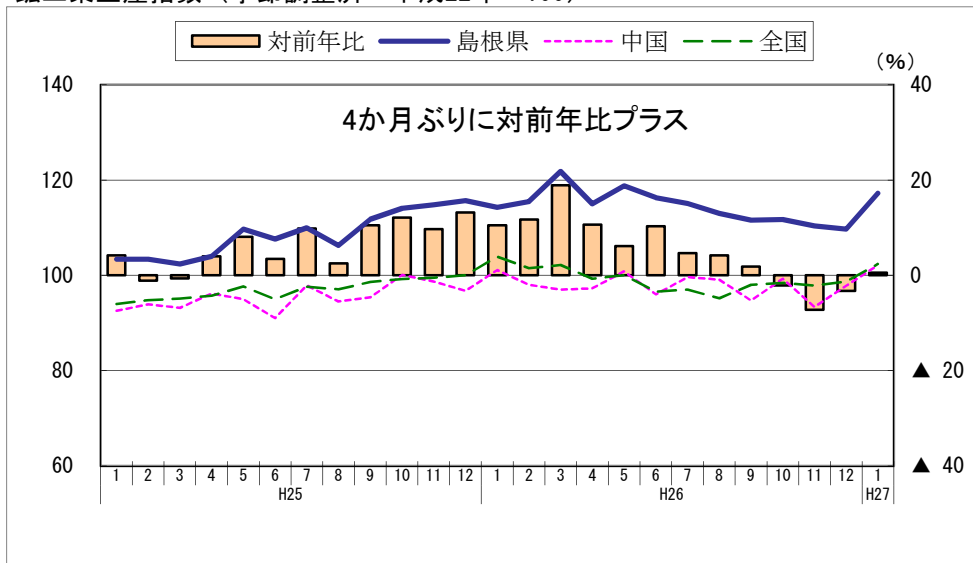
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成27年3月23日											
	<p>景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。</li> <li>・ 設備投資は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・ 輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・ 生産は、持ち直している。</li> <li>・ 企業収益は、改善の動きがみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっているが、一部に改善の兆しもみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、改善傾向にある。</li> <li>・ 消費者物価は、横ばいとなっている。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続かなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。</p>											
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成27年3月20日											
	<p>～ 持ち直している ～</p> <p>中国地域の経済は、雇用や設備投資に良い動き、生産は一部に持ち直しの動きがみられ、景況感は現状、先行きともに上昇しており、持ち直している。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…一部に持ち直しの動き</td> <td>7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は減少</td> </tr> <tr> <td>2. 景況感…現状、先行きともに上昇</td> <td>8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…減少</td> <td>9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加</td> </tr> <tr> <td>4. 物価…上昇</td> <td>10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、横ばい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…前年度を上回る見込み</td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向…一部に持ち直しの動き	7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は減少	2. 景況感…現状、先行きともに上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇	3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加	4. 物価…上昇	10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少	5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、横ばい		6. 設備投資…前年度を上回る見込み
1. 生産動向…一部に持ち直しの動き	7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は減少											
2. 景況感…現状、先行きともに上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇											
3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加											
4. 物価…上昇	10. 貿易…輸出は増加、輸入は減少											
5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、横ばい												
6. 設備投資…前年度を上回る見込み												
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2015年3月2日											
	<p>山陰の景気は、緩やかな回復基調を続けている。最終需要についてみると、個人消費は、一部で改善の動きに鈍さがみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、緩やかな金融環境にも支えられ、持ち直している。設備投資は、企業収益が改善するもとで緩やかに増加している。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。こうした中、生産は、一部業種でなお弱い動きもみられるが、全体としては持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、一部で改善の動きに鈍さがみられるが、全体としては底堅く推移している。</li> <li>・ 住宅投資は、雇用・所得環境の改善や緩やかな金融環境に支えられ、持ち直している。</li> <li>・ 設備投資は、企業収益が改善するもとで、緩やかに増加している。</li> <li>・ 公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。</li> <li>・ 生産は、一部業種でなお弱い動きもみられるが、全体としては持ち直している。</li> <li>・ 雇用・所得環境は着実に改善している。</li> </ul>											
	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2015年2月27日											
	<p>消費税増税前の駆け込み需要の反動により個人消費や住宅建設などに弱さが残り、公共投資の増勢にも一服感がみられるものの、雇用情勢が持ち直し傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、増勢に一服感がみられる。</li> <li>・ 設備投資は、2014年度は、製造業で前年度を上回り、非製造業が下回る計画となっているものの、全産業では前年度を上回る計画（日銀短観12月調査）。</li> <li>・ 住宅建設は、駆け込み需要の反動による影響は和らぎつつあるものの、総じてやや低調な推移となっている。</li> <li>・ 個人消費は、消費税増税の影響は和らいでいるものの、弱い動きになっている。</li> <li>・ 生産は、消費税増税前の駆け込み需要の反動などにより、一部で弱い動きになっている。</li> <li>・ 雇用情勢は、総じて持ち直している。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元、製造業は改善したものの、非製造業が悪化し、全産業では横ばいとなった（前回9月調査、今回ともに3）。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しとなっている（日銀短観12月調査）。</li> </ul>											
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成27年1月28日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。</li> <li>・ 生産活動 持ち直しの動きに足踏みがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢 改善している。</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回っている。</li> <li>・ 設備投資 26年度は増加見込み。</li> <li>・ 企業収益 26年度は増益見込み。</li> </ul>											

# 経済指標の推移

## 【 生産活動 】 ～持ち直しの動き～

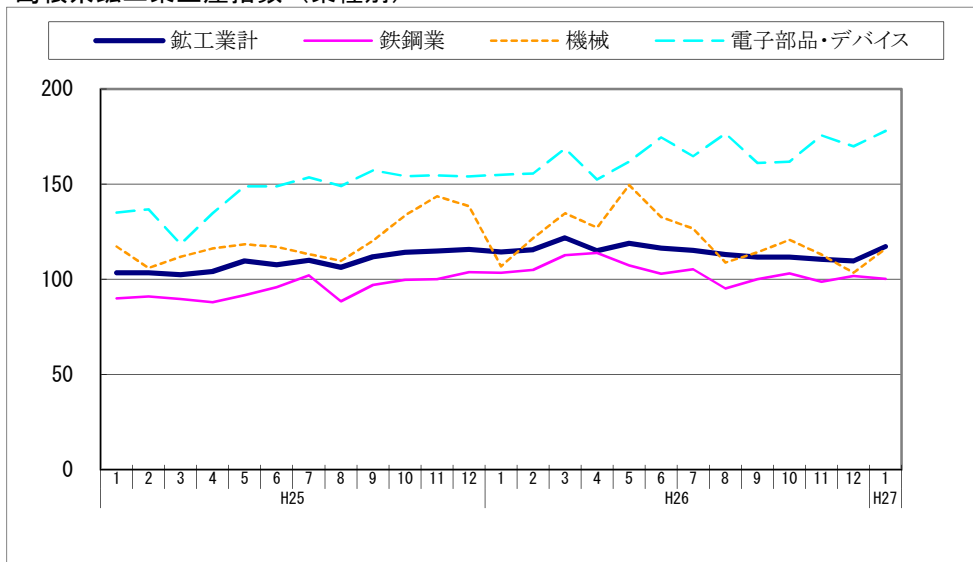
鉱工業生産指数（季節調整済 平成22年=100）



(注) 対前年比は、島根県の原指数

(県統計調査課、経済産業省)

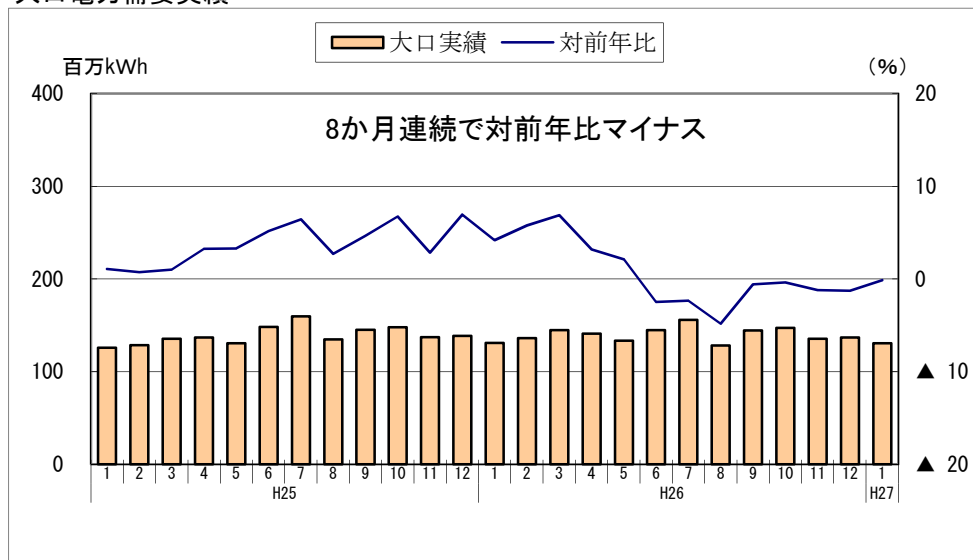
島根県鉱工業生産指数（業種別）



(注) 機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

(県統計調査課)

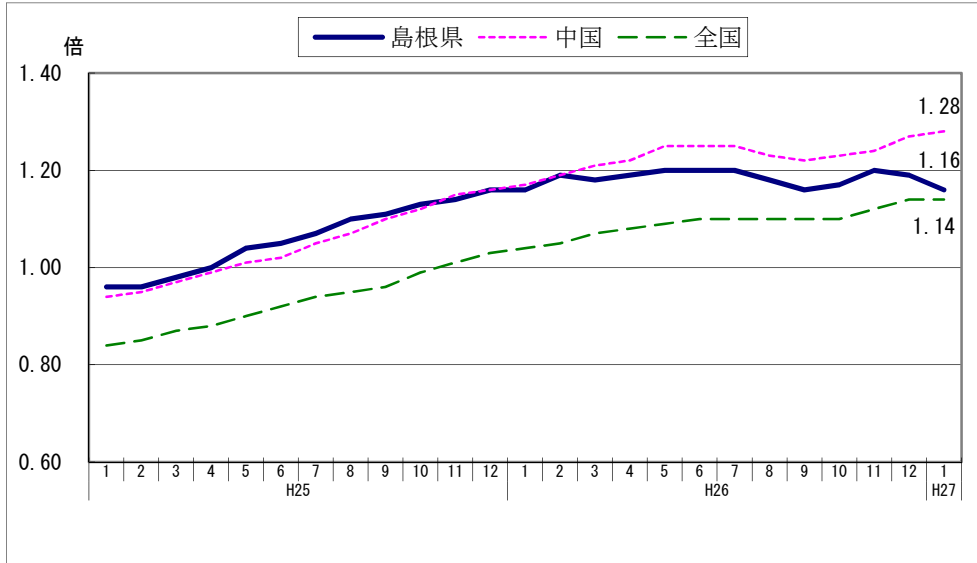
大口電力需要実績



(中国電力株)

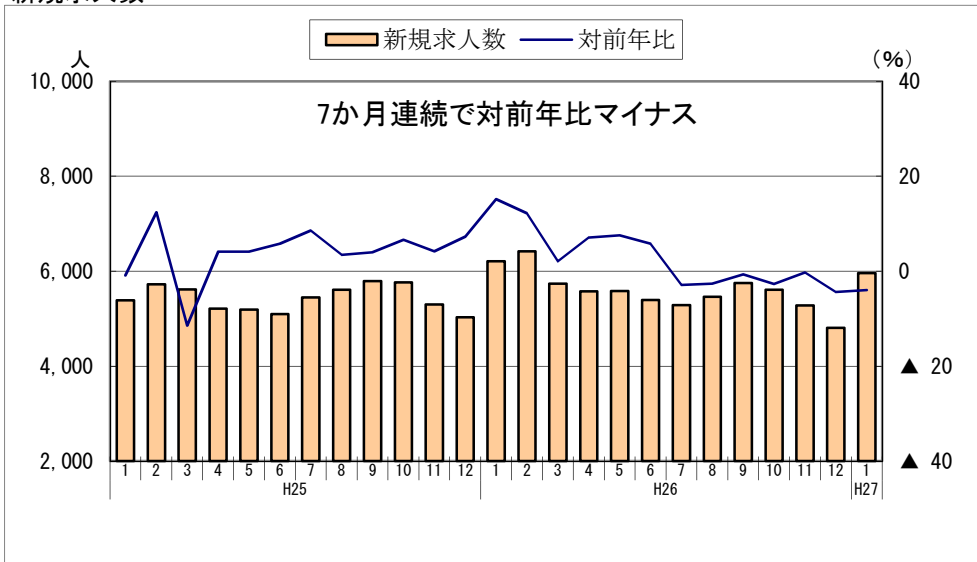
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



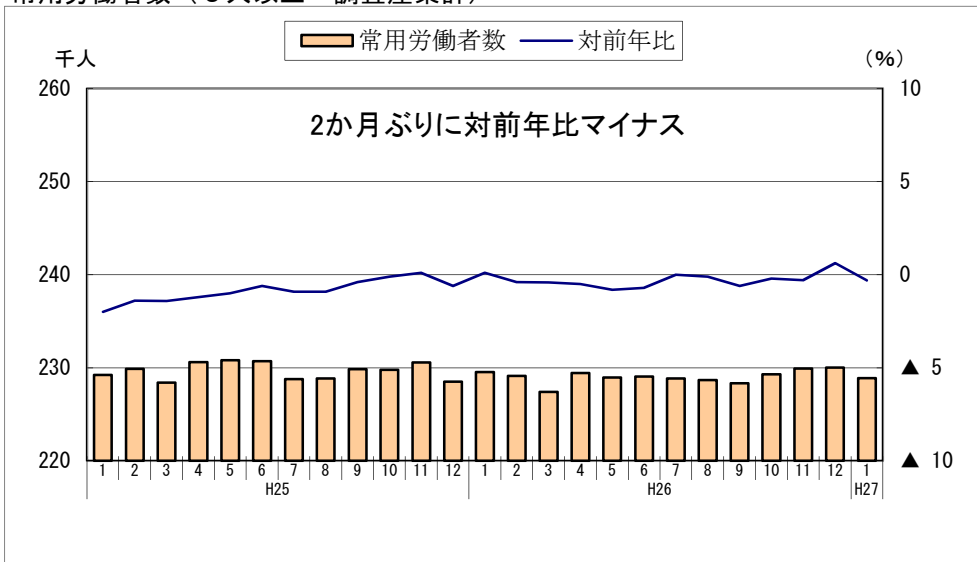
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

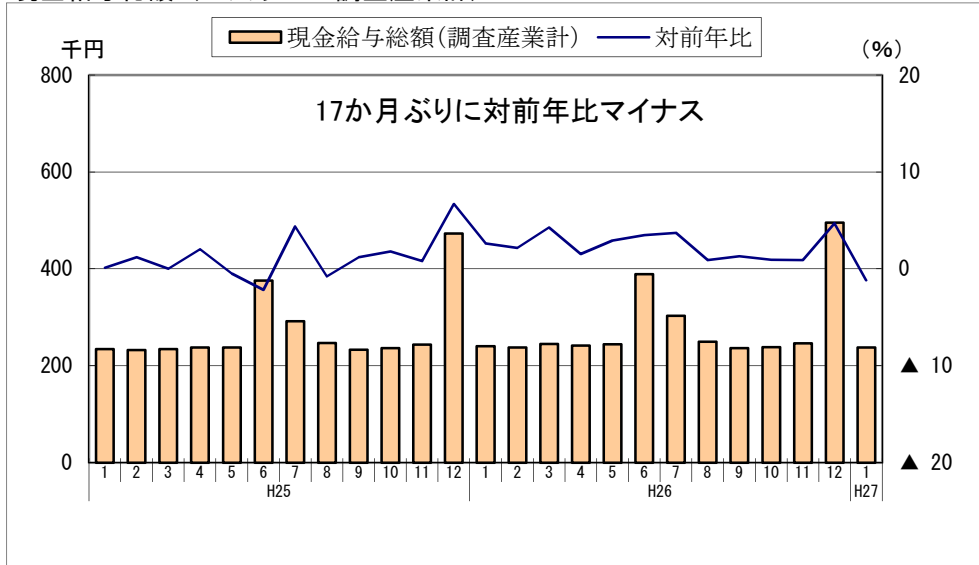
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

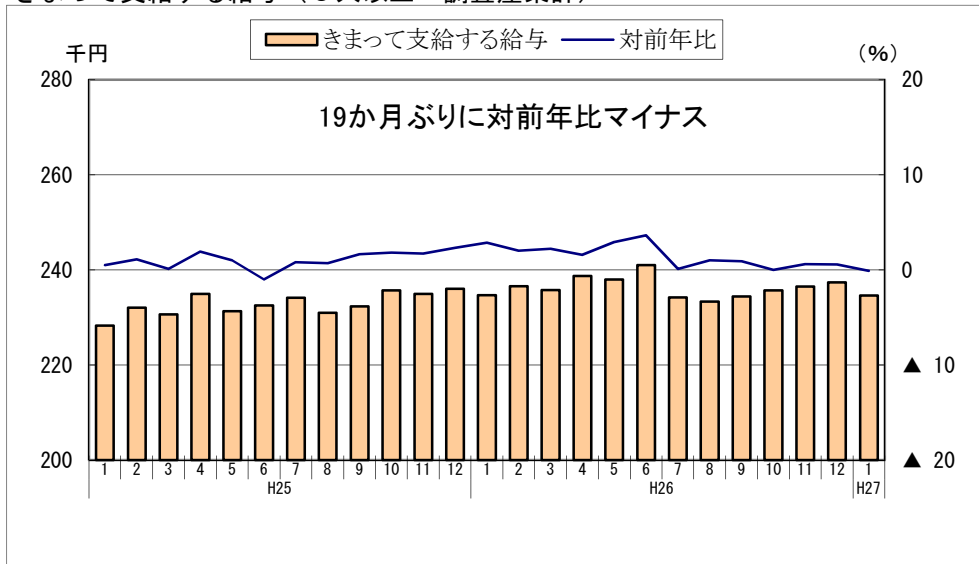
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



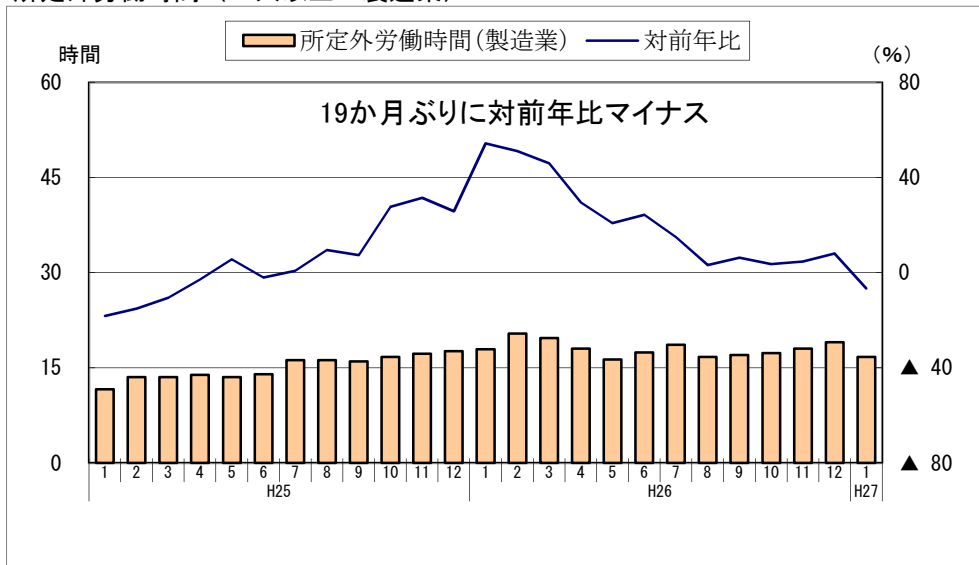
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

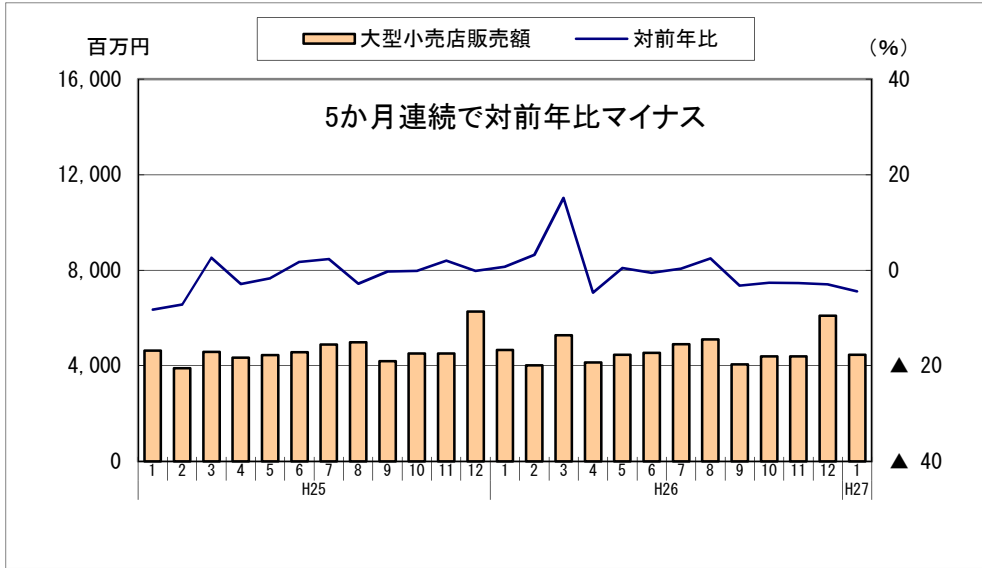
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

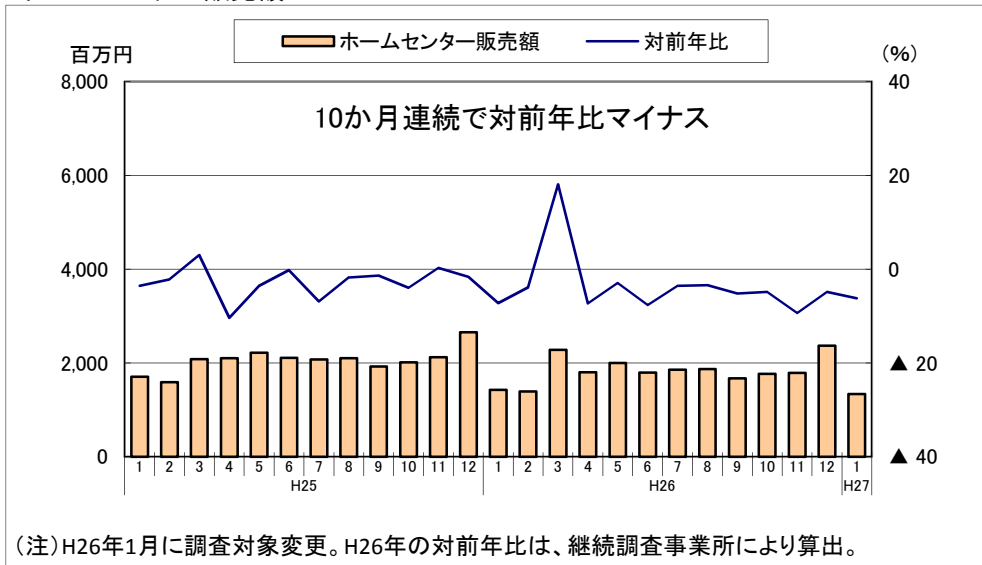
【 個人消費 】 ～弱い動き～

大型小売店販売額



(中国経済産業局)

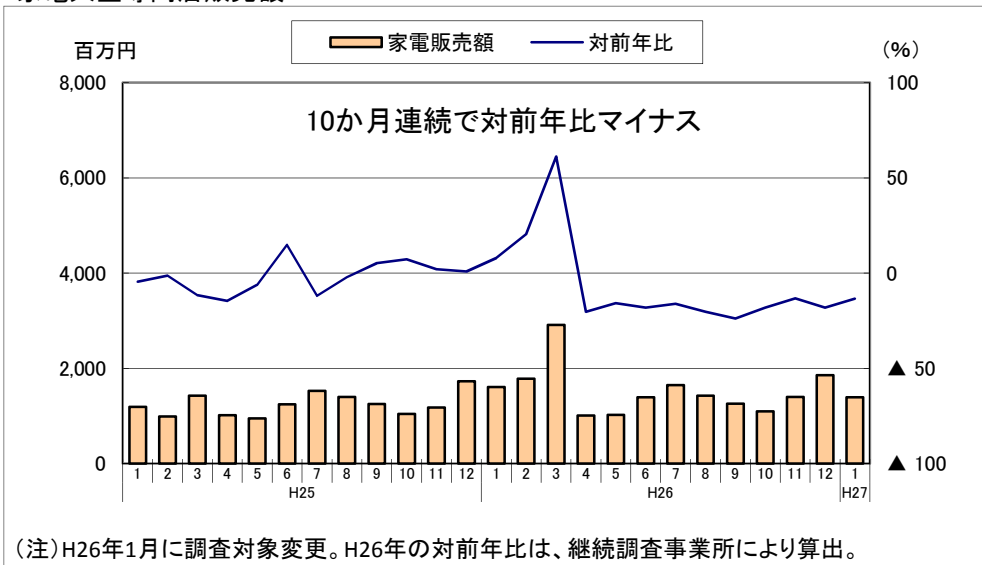
ホームセンター販売額



(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

家電大型専門店販売額

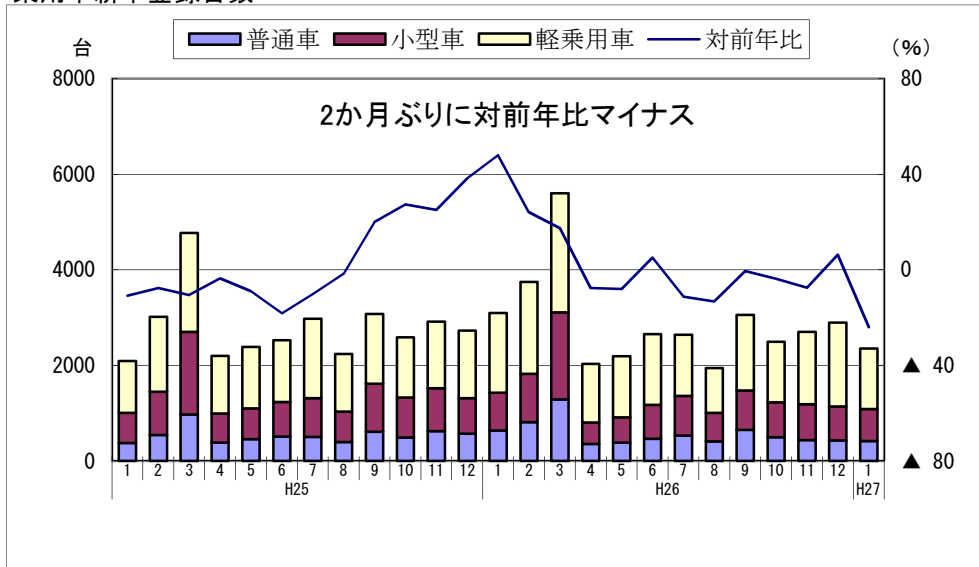


(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

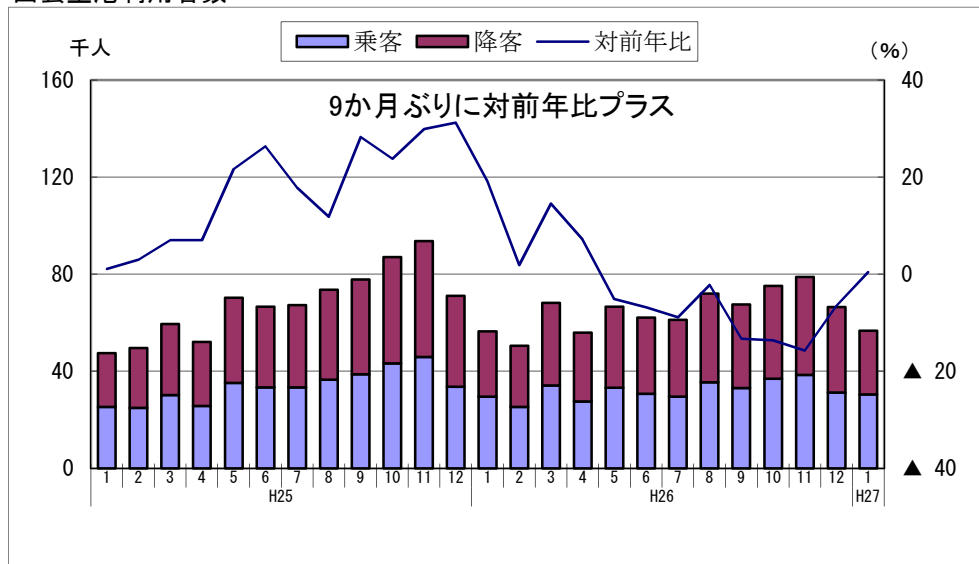
【 個人消費 】      ～弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

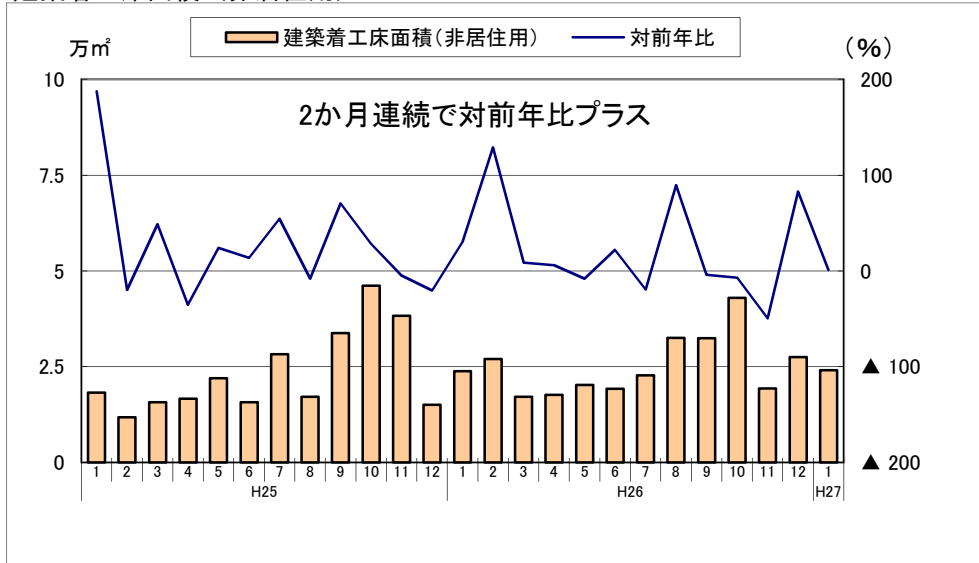
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

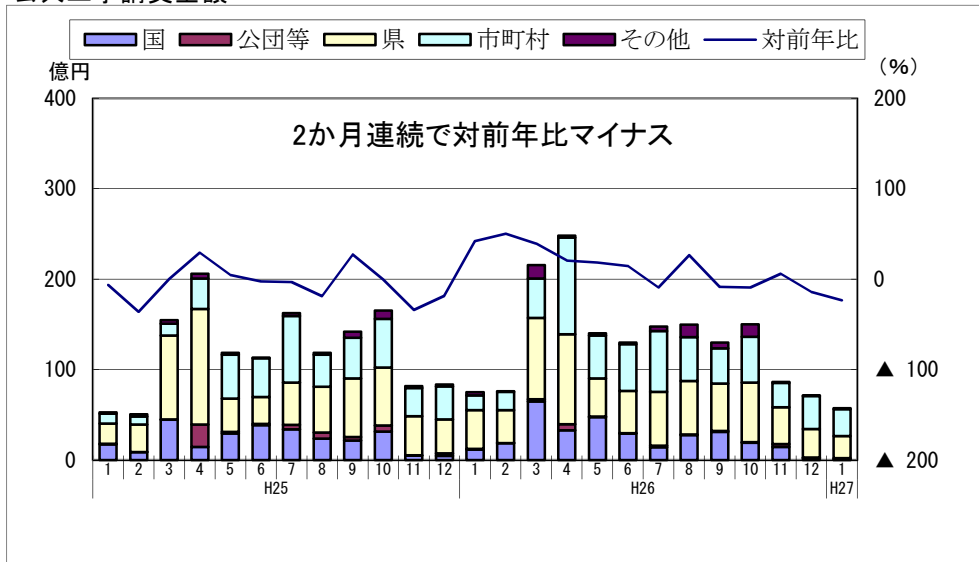
【 投資動向 】      ～持ち直している～

建築着工床面積（非居住用）



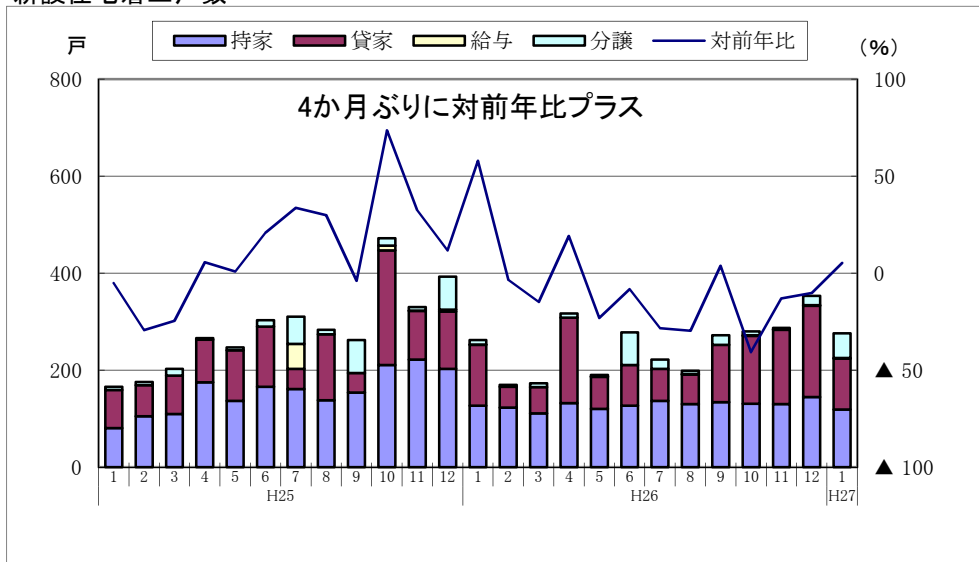
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

新設住宅着工戸数

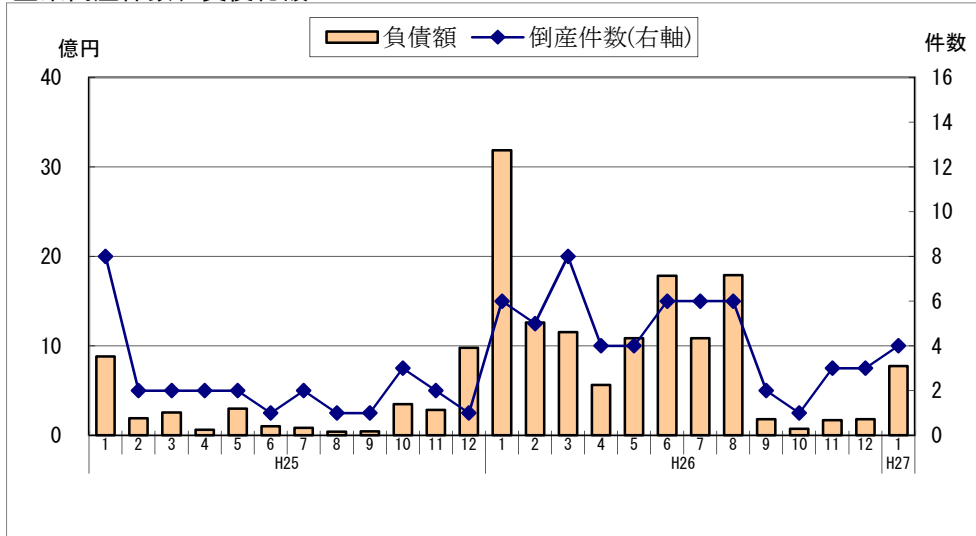


(国土交通省)



【 企業倒産 】 ～倒産件数 4 件～

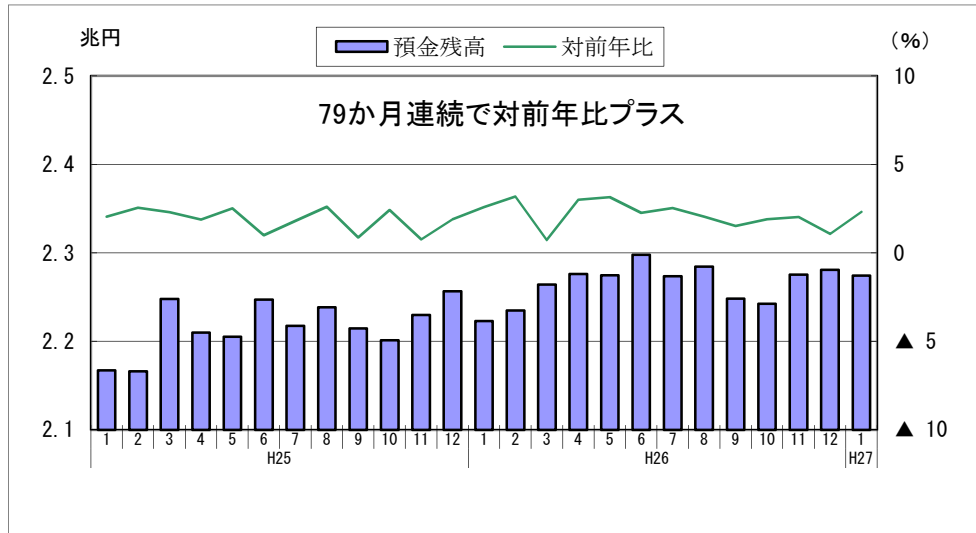
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

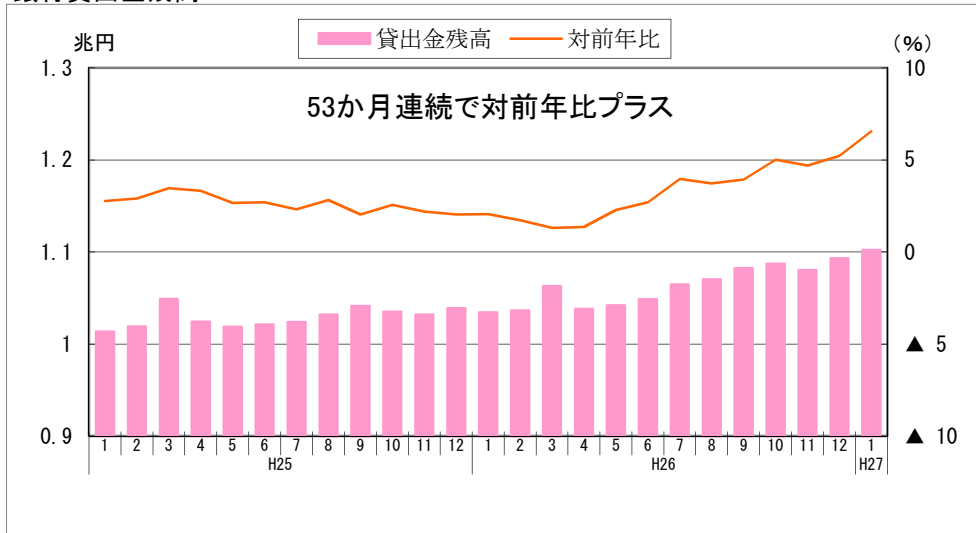
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年6.6%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

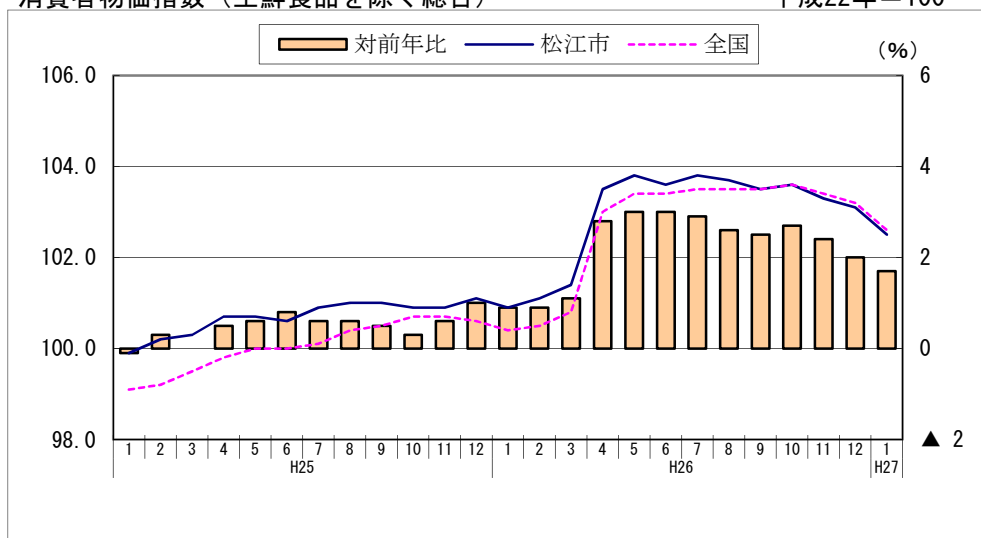


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年1.7%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

平成22年＝100

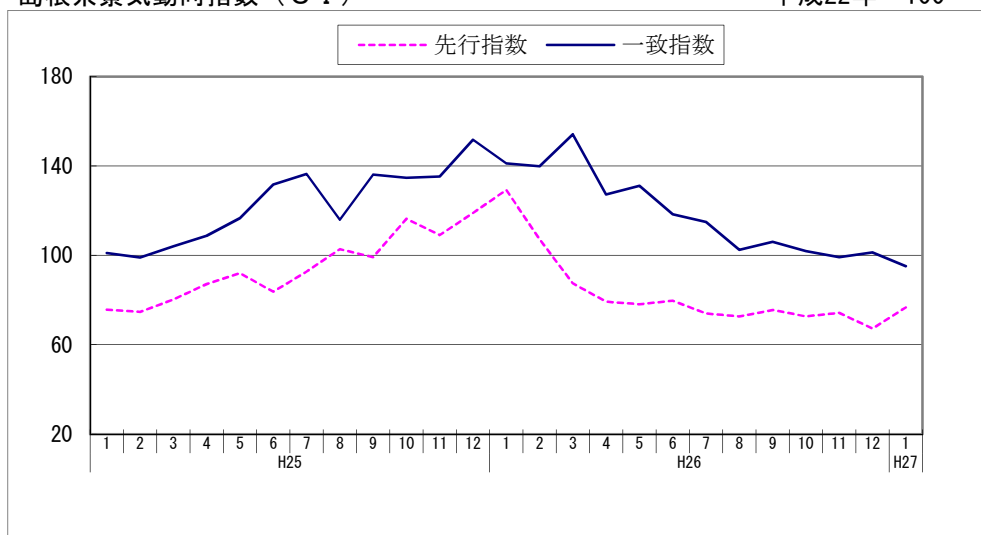


(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)

平成22年＝100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成27年3月12日 財務省松江財務事務所）  
平成27年1-3月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	26年10～12月 前回調査	27年1～3月 今回調査	27年4～6月 見 通 し	27年7～9月 見 通 し
全 産 業	▲ 2.0	( ▲10.8) ▲ 16.8	( 7.8) 4.0	2.0
製 造 業	▲ 13.9	( ▲13.9) ▲ 8.3	( 2.8) 13.9	8.3
非製造業	4.5	( ▲9.1) ▲ 21.5	( 10.6) ▲ 1.5	▲ 1.5
大 企 業	0.0	( ▲12.5) ▲ 12.5	( 12.5) 25.0	12.5
中堅企業	▲ 5.9	( ▲5.9) ▲ 8.8	( 14.7) 14.7	2.9
中小企業	0.0	( ▲13.3) ▲ 22.0	( 3.3) ▲ 5.1	0.0

※ ( ) 書きは、前回 (26年10～12月期) 調査時の見通し